



2020年1月24日

各位

会社名 株式会社トランザス
 代表者名 代表取締役社長 藤吉 英彦
 (コード番号: 6696 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役経営管理部長 奥 文郎
 (TEL. 045-650-7000)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社が本日公表いたしました「当社連結子会社の株式会社ピースリーにおける株式会社デジタルガレージ及び株式会社ダリアとのヘアサロン向け番組配信事業での業務契約締結に関するお知らせ」に記載いたしましたとおり、当社連結子会社の株式会社ピースリー（以下、「P3」といいます。）は、株式会社デジタルガレージ、株式会社ダリアと業務契約を締結し、サロン向け番組配信事業を開始する事を決定しました。この決定に際し、当初販売が予定されていた利用端末の一部を、P3の所有において事業運営をおこなう方針へと変更を決定しました。また、当社が本日公表いたしました「持分法適用関連会社の異動（連結子会社化）に関するお知らせ」に記載いたしましたとおり、監査法人と協議した結果、当社はP3を連結子会社化することを決議いたしました。これらの決定及び決議により、2019年3月13日に公表いたしました2020年1月期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 当期の通期連結業績予想値の修正（2019年2月1日～2020年1月31日）

（金額単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想（A） （2019年3月13日発表）	百万円 888	百万円 20	百万円 17	百万円 17	円 銭 5.36
今回修正予想（B）	776	△98	△96	△110	△35.02
増減額（B-A）	△112	△118	△113	△127	
増減率（%）	△12.6	—	—	—	
（参考）前期連結実績 （2019年1月期）	694	△144	△146	△166	△52.66

2. 修正の理由

2020年1月期第4四半期において、当社から当社持分法適用関連会社であったP3に対してデジタルサイネージ端末の販売が予定されており、当該端末はP3から他社に対して販売される事が予定されておりました。しかしながら、現在のデジタルサイネージビジネスの活況と広告ビジネスの可能性を考慮した結果、P3が当該端末を販売するよりも、固定資産として保有しサービス提供をおこなう方が、2021年1月期以降の業績に与える経済メリットが大きくなる事が予想されるため、P3は当該端末を保有してビジネスを実施していく事を決定しました。

この決定の結果、当該端末は当社からP3に対しては販売したものの、P3から他社に対して販売されないこと、また、当社が本日公表いたしました「持分法適用関連会社の異動（連結子会社化）に関するお知らせ」に記載いたしましたとおり、P3が連結子会社となることにより、売上高の一部及び当該端末に係る未実現利益の全額が連結業績上消去されることになり、また、非支配株主に帰属する当期純利益が発生することになりましたので、予想数値を修正いたしました。

3. 2021年1月期以降の業績について

2021年1月期の連結業績予想については現在集計中ですが、当社が本日公表いたしました「当社連結子会社の株式会社ピースリーにおける株式会社デジタルガレージ及び株式会社ダリアとのヘアサロン向け番組配信事業での業務契約締結に関するお知らせ」に記載いたしましたとおり、今後見込まれるP3の事業規模の拡大が、当社の連結業績に寄与することが見込まれます。

なお、当社の2021年1月期の連結業績予想は、2020年3月13日に「2020年1月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表する予定です。

以上